

小学校教科書の高齢者

山本 圭郎*・入江 和夫

The Elderly in Elementary School Textbooks

YAMAMOTO Yoshiro*, IRIE Kazuo

(Received July 20, 2007)

キーワード：高齢者像、健康状態、家族形態、家庭科教育

1. はじめに

日本は急激な高齢化に突入しており、5人に1人が65歳以上となっている¹⁾。高齢化はますます進んでおり、高齢者と接する機会が増加することは言うまでもない。

しかし、パルモア²⁾は高齢者に対する一般的な偏見として“高齢者は病人か障害者である”、“高齢者は養護老人ホームなどに入所している”などがあると述べている。しかし、高齢者に実施した内閣府のアンケート³⁾によれば、7割以上の高齢者は”健康である”、“5割以上は”家族と一緒に暮らしている”であり、高齢者像の偏見と現実の間には大きなずれが生じている。

ここではこの偏見に注目する。いったい、このような偏見はどこから生まれてきたのだろうか。おそらく、生活を通して子どもの時から刷り込みがなされてきたにちがいない。児童の1日の生活時間に注目すれば、1/3は学校である。さらにそこでは教科書を使った授業が主な生活時間を占めている。教科書に注目すると、内容理解を促すための写真や挿絵があり、高齢者の姿や家族の状況が描かれている。特に年齢が低い児童は物事を直感的にとらえやすいことから、教科書内の写真や挿絵は大きな影響をもつではないかと考えられる。

そこで、1社の教科書会社に限定し、国語科(1～6年)、社会科(小学校3～6年)、保健(小学校3～6年)、生活科(小学校1～2年)、道徳(小学校1～6年)、家庭科(小学校5～6年)の教科書に描かれている高齢者像を健康的か否かの観点から、また家族形態を核家族(祖父母のみ、父母/父母と子)、拡大家族、一人暮らし(高齢者)の観点から分析し、また写真・挿絵の一例を解説することにした。ここではこれらを述べるとともに、超高齢社会の観点から一考する。

2. 資料と分析方法

- (1) 科目：国語科(1～6年)、社会科(小学校3～6年)、保健(小学校3～6年)、生活科(小学校1～2年)、道徳(小学校1～6年)、家庭科(小学校5～6年)の6科目を対象とした。
- (2) 高齢者像：表中の「高齢者」とは家族の中にいない(=例えば、八百屋で働く高齢者)

*山口大学大学院教育学研究科

と家族の中にいる（＝例えば、団らんの中の高齢者）場合の両者を示している。

(3) 家族形態

- 1) 「拡大家族の（健康な、健康を害した）高齢者」とは家族と一緒にいる高齢者である。
- 2) 「一人暮らしの高齢者」とは一人暮らしである旨が記述されている高齢者である。
- 3) i) 「核家族、祖父母のみ」とは外で散歩や体操など共同行動している男女の高齢者である。
- ii) 「核家族、父母／父母と子」の前者は家庭で団欒している、外で散歩や買い物など共同行動している男女であり、後者は家庭で食事をつくる、外で買い物するなど共同行動している親子である。

1) 国語科

(1) 高齢者像

表 1 に国語科教科書（1～6年）の高齢者像の枚数を調べ、示した。

表 1 小学校国語科教科書（健康状態）*

小学校：高齢者（写真・挿絵数）		国語科	
		枚数（％）	
高齢者 **	健康な高齢者	95 (94)	
	健康を害した高齢者	6 (6)	
総計		101 (100)	

* 小学校1～6年までの総計

** 家族形態に関係なく高齢者の写真をカウント

小学校1～6年までの高齢者の写真・挿絵の総計は101枚であった。体操や散歩をしている「健康な高齢者」は95枚（94％）であった。一方、松葉杖をついていたり、入院している姿など、「健康を害した高齢者」は6枚（6％）にすぎなかった。すなわち、小学校国語科に描かれている高齢者像とは健康的な姿が圧倒的に多いことがわかった。

(2) 家族形態

国語科教科書とはどのような家族を描いているのだろうか。「拡大家族（健康&健康を害した高齢者）」、「一人暮らし（高齢者）」、「核家族（祖父母のみ&父母／父母と子）」の家族形態に注目し、表2に示した。

表 2 小学校国語科教科書（家族形態）

小学校国語科		枚数（％）						総計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
拡大家族	健康な高齢者	5	8	1	3	8	1	26 (27)
	健康を害した高齢者	0	0	0	0	1	0	1 (1)
ページ／枚数		34		129		57		
一人暮らしの高齢者		0	0	4	0	4	1	9 (10)
核家族	祖父母のみ	1	7	0	0	1	0	9 (10)
	父母／父母と子	7	7	7	14	9	5	49 (52)
ページ／枚数(父母/父母と子)		32		25		37		
総計		13	22	12	17	23	7	94 (100)

家族が描かれていた写真・挿絵の総計は94枚であった。「拡大家族」の総計は27枚（28％）であった。その内訳として「健康な高齢者のいる拡大家族」が26枚（27％）（＝家族形態2位）であり、健康を害した高齢者が1枚（1％）（＝家族形態5位）であった。

「一人暮らしの高齢者」は9枚(10%) (=家族形態3位)であった。「核家族」は62枚(62%)であり、その内訳は「核家族(祖父母のみ)」が9枚(10%) (=家族形態3位)、「核家族(父母/父母と子)」が49枚(52%) (=家族形態1位)であった。これらから、国語科全体から見た家族といえば、核家族「父母/父母と子ども」が多く、高齢者の存在が希薄な家族というイメージが印象付けられるのではないかと考えられる。

「拡大家族」&「核家族」(=父母/父母と子)の写真・挿絵の出現率(1枚あたり何ページおきに出現する割合)を見ていく。低学年→中学年→高学年の「拡大家族」&「核家族」(=父母/父母と子)のページ数割合はそれぞれ34 & 32 ページ/枚→129 & 25 ページ/枚→57 & 37 ページ/枚と変化し、中学年での「拡大家族」の出現率が低下した。

(3) 写真・挿絵の具体例

ここでは教科書の写真・挿絵の具体的な解説をしていく。写真・挿絵を図1～4に示す。



図1 拡大家族の健康な高齢者(小1年)⁴⁾

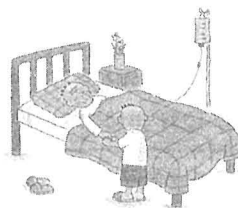


図2 拡大家族の健康を害した高齢者(小5年)⁵⁾



図3 一人暮らしの高齢者(小3年)⁶⁾



図4 父母/父母と子の核家族(小1年)⁷⁾

図1は、拡大家族の健康な高齢者(小1年)である。「大きなかぶ」物語の内容は、おじさんが一人で大きなかぶを抜こうとするが一人では無理で、どんどんと家族や動物たちと力をあわせて、かぶを抜くと言う話である。ここでは、一人で出来ないことも家族(みんな)で協力してやれば出来ることを示している。この単元中の挿絵から協力することの大切さや健康な高齢者のイメージを持つことができると考えられる。

図2は、拡大家族の健康を害した高齢者(小5年)である。「だいじょうぶ だいじょうぶ」物語の内容は、今よりも子どもの頃、心配や不安なことがあるとおじいちゃんが手を握って、励ましてくれていたが、今おじいちゃんは、病気になり、今度は自分がおじいちゃんの手を握り、励ましているという話である。ここでは、一人では、心配や不安なことも、励ましてもらうことで、強くなれることを示している。この単元中の挿絵から高齢者とは健康を害した弱い存在というイメージを形成してしまうのではないかと考えられる。

図3は、一人暮らしの高齢者（小3年）である。「ゆうすげ村の小さな旅館」物語の内容は、若い頃には出来ていたが、高齢のために旅館の仕事が出来なくなった。そのときに親切にした人（うさぎ）から手伝ってもらい仕事をやり遂げるとい話である。この物語でおばあさんが、親切にしたのはうさぎだったが、人に親切にすることで人からも親切にされることを示している。この単元中の挿絵から高齢であれば仕事ができなくなること、高齢者とは一人暮らしであることがイメージされてしまうのではないだろうか。

図4は、父母／父母と子の核家族（小1年）である。「ことばのせかい」という巻末にあった挿絵で家族の食事の様子であり、ここには、高齢者の姿はない。

家族での食事の場面は子どもだけでなく、大人が見ても微笑ましく、ほっとする。そういう温かい雰囲気家族に高齢者がいないのである。日本は超高齢社会になる。4人に1人が高齢者であり、食事の場面に高齢者がいてあたりまえであり、このような場に高齢者を描くことで、高齢者への好感と受け入れる下地ができると考えられる。

2) 社会科

(1) 高齢者像

表3に社会科教科書（3～6年）の高齢者像の枚数を調べ、示した。

表3 小学校社会科教科書（高齢者像）

小学校：高齢者（写真・挿絵数）		社会科 枚数（%）
高齢者**	健康な高齢者	31 (69)
	健康を害した高齢者	14 (31)
総計		45 (100)

* 小学校3～6年までの総計

** 家族形態に関係なく高齢者の写真をカウント

小学校3～6年までの高齢者の写真・挿絵の総計は45枚であった。小学生に昔の話や絵本の読み聞かせをしたり、散歩をしているような「健康な高齢者」は、31枚（69%）であった。一方、松葉杖をついていたり、車椅子を利用している姿など「健康を害した高齢者」は、14枚（31%）であった。すなわち、小学校の社会科に描かれている高齢者像とは健康的な姿であった。

(2) 家族形態

社会科教科書とはどのような家族を描いているのだろうか。「大家族（健康&健康を害した高齢者）」、「一人暮らし（高齢者）」、「核家族（祖父母のみ&父母／父母と子）」の家族形態に注目し、表4に示した。

表4 小学校社会科教科書（家族形態）

小学校社会科		枚数（%）			
		3・4年	5年	6年	総計
大家族	健康な高齢者	4	1	4	9(13)
	健康を害した高齢者	1	0	2	3(4)
ページ／枚数		49	51		
一人暮らしの高齢者		0	0	0	0(0)
核家族	祖父母のみ	0	0	2	2(3)
	父母／父母と子	28	12	16	56(80)
ページ／枚数(父母／父母と子)		9	13		
総計		33	13	24	70(100)

家族が描かれていた写真・挿絵の総計は70枚であった。「拡大家族」の総計は12枚(17%)であった。その内訳として「健康な高齢者のいる拡大家族」が9枚(13%) (=家族形態2位)であり、健康を害した高齢者が3枚(4%) (=家族形態3位)であった。「一人暮らしの高齢者」はなかった。「核家族」は58枚(83%)であり、その内訳は「核家族(祖父母のみ)」が2枚(3%) (=家族形態4位)、「核家族(父母/父母と子)」が56枚(80%) (=家族形態1位)であった。これらから、社会科全体から見た家族といえ、核家族「父母/父母と子ども」が多く、国語科と同様に高齢者の存在が希薄な家族というイメージが印象付けられるのではないかと考えられる。

「拡大家族」&「核家族」(=父母/父母と子)の写真・挿絵の出現率(1枚あたり何ページおきに出現する割合)を見ていく。中学年→高学年の「拡大家族」&「核家族」(=父母/父母と子)のページ数割合はそれぞれ49&9ページ/枚→51&13ページ/枚と変化し、特に高学年での「核家族(父母/父母と子)」像の出現率が高くなっていた。

(3) 写真・挿絵の具体例

ここでは教科書の写真・挿絵の具体的な解説をしていく。写真・挿絵を図5～7に示す。



図5 拡大家族の健康な高齢者
(小3・4年)⁸⁾



図6 拡大家族の健康を害した高齢者
(小6年)⁹⁾



図7 父母/父母と子の核家族
(小3・4年)¹⁰⁾

図5は、拡大家族の健康な高齢者(小3・4年)である。「人びとのしごととわたしたちの暮らし」という単元の発展「とびだせ」からの写真である。内容は、盲導犬を育てる里親(パピーウォーカー)の仕事について紹介されている。ここでは、盲導犬の必要性、家族が愛情を持って接することの大切さ示している。この単元中の写真から人にも動物にも愛情を持って接することの大切さや健康な高齢者というイメージを持つことができると考えられる。

図6は、拡大家族の健康を害した高齢者(小6年)である。「わたしたちの願いを実現する政治」からの挿絵であり、高齢者とは健康を害しているというイメージが形成されてしまうのではないかと考えられる。

図7は、父母／父母と子の核家族（小3・4年）である。「わたしのまち みんなのまち」での写真で家族の休日の様子であり、ここには、高齢者の姿はない。

休日とは家族で過ごす時間が十分にとれ、家族でさまざまな活動ができる日である。この休日の活動の中に高齢者の姿がなかった。4人に1人が高齢者となる超高齢社会において、高齢者と関わりながら生活していかなければならない。休日に外で家族と過ごす楽しいひとときに高齢者が描かれていれば、子どもたちにとって高齢者とは家族に含まれ、健康的に一緒に生活するという意識を持たせることができるのではないかと考えられる。

3) 保健

(1) 高齢者像

表5に保健教科書（3～6年）の高齢者像の枚数を調べ、示した。

表5 小学校保健教科書（高齢者像）*

小学校：高齢者（写真・挿絵数）		保健 枚数（%）
高齢者**	健康な高齢者	7 (58)
	健康を害した高齢者	5 (42)
総計		12 (100)

* 小学校3～6年までの総計

** 家族形態に関係なく高齢者の写真をカウント

小学校3～6年までの高齢者の写真・挿絵の総計は12枚であった。3～6年までの国語や社会の枚数と比較すると極端に少ない。運動や散歩をしているような「健康な高齢者」は、7枚（58%）であった。一方、松葉杖をついていたり、車椅子を利用している姿など「健康を害した高齢者」は、5枚（42%）であった。

(2) 家族形態

保健教科書とはどのような家族を描いているのだろうか。「拡大家族（健康&健康を害した高齢者）」、「一人暮らし（高齢者）」、「核家族（祖父母のみ&父母／父母と子）」の家族形態に注目し、表6に示した。

表6 小学校保健教科書（家族形態）

小学校保健		枚数（%）			
		3・4年	5・6年	総計	
拡大家族	健康な高齢者	2	0	2(15)	3(23)
	健康を害した高齢者	0	1	1(8)	
ページ／枚数		14	43		
一人暮らしの高齢者		0	0	0(0)	0(0)
核家族	祖父母のみ	2	1	3(23)	10(77)
	父母／父母と子	3	4	7(54)	
ページ／枚数(父母／父母と子)		9	11		
総計		7	6	13(100)	

家族が描かれていた写真・挿絵の総計は13枚であった。「拡大家族」の総計は3枚（23%）であった。その内訳として「健康な高齢者のいる拡大家族」が2枚（15%）（＝家族形態3位）であり、健康を害した高齢者が1枚（8%）（＝家族形態4位）であった。「一人暮らしの高齢者」はなかった。「核家族」は10枚（77%）であり、その内訳は「核

家族（祖父母のみ）」が3枚（23%）（＝家族形態2位）、「核家族（父母／父母と子）」が7枚（54%）（＝家族形態1位）であった。これらから、保健全体から見た家族と
いえば、核家族「父母／父母と子ども」が多く、国語科、社会科と同様に高齢者の存在が希薄な家族というイメージが印象付けられるのではないかと考えられる。

「拡大家族」&「核家族」（＝父母／父母と子）の写真・挿絵の出現率（1枚あたり何ページおきに出現する割合）を見ていく。中学年→高学年の「拡大家族」&「核家族」（＝父母／父母と子）のページ数割合はそれぞれ14 & 9 ページ / 枚→43 & 11 ページ / 枚と変化し、特に中学年で「核家族」像の出現率が高くなっていた。

(3) 写真・挿絵の具体例

ここでは教科書の写真・挿絵の具体的な解説をしていく。写真・挿絵を図8～10に示す。



図8 拡大家族の健康な高齢者
(小3・4年)¹¹⁾



図9 拡大家族の健康を害した高齢者
(小5・6年)¹²⁾



図10 父母／父母と子の核家族 (小5・6年)¹³⁾

図8は、拡大家族の健康な高齢者（小3・4年）である。「1日の生活のしかた」という単元での挿絵である。内容は、1日の児童の生活を示したものである。ここでは、児童の理想的な1日の様子を示している。この単元中の挿絵から食事の楽しさ、家族そろって食事をする大切さや健康な高齢者というイメージを持つことができると考えられる。

図9は、拡大家族の健康を害した高齢者（小5・6年）である。「事故の発生」という単元での挿絵である。内容は、学校や身の回りで起こりそうな事故について紹介され、子どもたちが遊ぶ公園の中に高齢者の姿が多く描かれており、高齢者がいると事故が起こる、高齢者だから事故に遭遇するというイメージができてしまうのではないだろうか。

図10は、父母／父母と子の核家族（小5・6年）である。「不安なとき・なやみがあるとき」という単元での挿絵で、母親にしかられている様子である。

4) 生活科

(1) 高齢者像

表7に国語科教科書（1～6年）の高齢者像の枚数を調べ、示した。

表7 小学校生活科教科書（高齢者像）

小学校：高齢者（写真・挿絵数）		生活科
		枚数（%）
高齢者*	健康な高齢者	51 (84)
	健康を害した高齢者	10 (16)
総計		61 (100)

* 家族形態に関係なく高齢者の写真をカウント

小学校1、2年の高齢者の写真・挿絵の総計は61枚であった。体操や散歩をしている「健康な高齢者」は51枚（84%）であった。一方、松葉杖をついていたり、車椅子を利用している姿など、「健康を害した高齢者」は10枚（16%）にしかすぎなかった。すなわち、小学校生活科に描かれている高齢者像とは、国語、社会、保健同様に健康的な姿が多いことがわかった。

(2) 家族形態

生活科教科書とはどのような家族を描いているのだろうか。「拡大家族（健康&健康を害した高齢者）」、「一人暮らし（高齢者）」、「核家族（祖父母のみ&父母/父母と子）」の家族形態に注目し、表8に示した。

表8 小学校生活科教科書（家族形態）

小学校生活科		枚数（%）	
		1・2年	総計
拡大家族	健康な高齢者	17	17 (22)
	健康を害した高齢者	4	4 (5)
ページ/枚数		9	21 (27)
一人暮らしの高齢者		0	0 (0)
核家族	祖父母のみ	4	4 (5)
	父母/父母と子	53	53 (68)
ページ/枚数(父母/父母と子)		4	57 (73)
総計		78	78 (100)

家族が描かれていた写真・挿絵の総計は78枚であった。「拡大家族」の総計は21枚（27%）であった。その内訳として「健康な高齢者のいる拡大家族」が17枚（22%）（＝家族形態2位）であり、健康を害した高齢者が4枚（5%）（＝家族形態3位）であった。「一人暮らしの高齢者」はなかった。「核家族」は57枚（73%）であり、その内訳は「核家族（祖父母のみ）」が4枚（5%）（＝家族形態3位）、「核家族（父母/父母と子）」が53枚（68%）（＝家族形態1位）であった。これらから、生活科全体から見た家族といえば、核家族「父母/父母と子ども」が多く、国語科、社会科、保健と同様に高齢者の存在が希薄な家族というイメージが印象付けられるのではないかと考えられる。

「拡大家族」&「核家族」（＝父母/父母と子）の写真・挿絵の出現率（1枚あたり何ページおきに出現する割合）を見ていく。低学年の「拡大家族」&「核家族」（＝父母/父母と子）のページ数割合はそれぞれ9&4ページ/枚であった。

(3) 写真・挿絵の具体例

ここでは教科書の写真・挿絵の具体的な解説をしていく。写真・挿絵を図11～13に示す。



図 11 拡大家族の健康な高齢者
(小1・2年)¹⁴⁾



図 12 拡大家族の健康を害した高齢者
(小1・2年)¹⁵⁾



図 13 父母／父母と子の核家族 (小1・2年)¹⁶⁾

図 11 は、拡大家族の健康な高齢者 (小1・2年) である。「みんなだいすき」という単元での写真である。内容は、家族と話をすることを示したものである。ここでは、家族と話すことの楽しさを示している。この単元中の写真から家族との会話の楽しさ、家族と活動することの大切さや健康な高齢者というイメージを持つことができると考えられる。

図 12 は、拡大家族の健康を害した高齢者 (小1・2年) である。「ふゆがきたよ」という単元での写真である。内容は、冬の季節の特徴を示したものである。ここでは、冬に見られる人々や自然の様子がイラストで示されている。この単元中の写真から子どもに昔からの遊びを教えている高齢者の姿や健康を害した高齢者というイメージ持つようになると考えられる。

図 13 は、父母／父母と子の核家族 (小1・2年) ある。「なつやすみだいすき」という単元での写真でキャンプに行き、家族で食事をしている様子であるが、ここには、高齢者の姿はない。

夏休みなどの長い夏休みに家族でキャンプに行くことは子どもたちにとって忘れられない思い出になる。高齢者とはその人生経験からたくさんの知識がある。キャンプ場面においても高齢者と一緒に行くことで様々な知識を子どもたちに伝えることができる。この場面に高齢者の姿があれば、いろいろなことを知っている高齢者に対して、好感のイメージを持つようになると考えられる。

5) 道徳

(1) 高齢者像

表 9 に道徳教科書 (1～6年) の高齢者像の枚数を調べ、示した。

表9 小学校道徳教科書（高齢者像）*

小学校：高齢者（写真・挿絵数）		道徳	
		枚数（％）	
高齢者**	健康な高齢者	50（91）	
	健康を害した高齢者	5（9）	
総計		55（100）	

* 小学校1～6年までの総計

** 家族形態に関係なく高齢者の写真をカウント

小学校1～6年までの高齢者の写真・挿絵の総計は55枚であり、国語（101枚）、生活（61枚）に次いで多かった。地域の清掃活動や散歩をしている「健康な高齢者」は、50枚（91％）であった。一方、松葉杖をついていたり、目が見えず道に迷うような「健康を害した高齢者」は5枚（9％）にすぎなかった。すなわち、小学校道徳においても国語、生活同様に描かれている高齢者像とは健康な姿が圧倒的に多いことがわかった。

(2) 家族形態

道徳教科書とはどのような家族を描いているのだろうか。「拡大家族（健康&健康を害した高齢者）」、「一人暮らし（高齢者）」、「核家族（祖父母のみ&父母/父母と子）」の家族形態に注目し、表10に示した。

表10 小学校道徳教科書（家族形態）

小学校道徳		枚数（％）						総計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
拡大家族	健康な高齢者	2	2	2	5	1	1	13(11)
	健康を害した高齢者	0	0	2	0	0	0	2(2)
ページ/枚数		38		21		121		
一人暮らしの高齢者		0	0	0	2	0	0	2(2)
核家族	祖父母のみ	0	1	0	2	0	1	4(3)
	父母/父母と子	9	26	27	15	16	4	97(82)
ページ/枚数(父母/父母と子)		4		5		12		
総計		11	29	31	24	17	6	118(100)

家族が描かれていた写真・挿絵の総計は118枚であった。「拡大家族」の総計は15枚（13％）であった。その内訳として「健康な高齢者のいる拡大家族」が13枚（11％）（＝家族形態2位）であり、健康を害した高齢者が2枚（2％）（＝家族形態4位）であった。「一人暮らしの高齢者」は2枚（2％）（＝家族形態4位）であった。「核家族」は101枚（85％）であり、その内訳は「核家族（祖父母のみ）」が4枚（3％）（＝家族形態3位）、「核家族（父母/父母と子）」が97枚（82％）（＝家族形態1位）であった。これらから、道徳全体から見た家族といえば、核家族「父母/父母と子ども」が多く、高齢者の存在が希薄な家族というイメージが印象付けられるのではないかと考えられる。

「拡大家族」と「核家族」（＝父母/父母と子）の写真・挿絵の出現率（1枚あたり何ページおきに出現する割合）を見ていく。低学年→中学年→高学年の「拡大家族」と「核家族」（＝父母/父母と子）のページ数割合はそれぞれ38 & 4ページ/枚→21 & 5ページ/枚→121 & 12ページ/枚と変化し、低学年、中学年で核家族出現率が高く、高学年での「拡大家族」の出現率が極端に低下していることが特徴的であった。

(3) 写真・挿絵の具体例

ここでは教科書の写真・挿絵の具体的な解説をしていく。写真・挿絵を図14～17に示す。



図14 拡大家族の健康な高齢者
(小2年)¹⁷⁾



図15 拡大家族の健康を害した高齢者
(小3年)¹⁸⁾



図16 一人暮らしの高齢者
(小4年)¹⁹⁾



図17 父母／父母と子の核家族
(小5年)²⁰⁾

図14は、拡大家族の健康な高齢者(小2年)である。「白いバラ」物語の内容は、女の子が花屋さんで白いバラを見て、買ってもらいとても大切に育て、大人になり結婚するときのヴェールにそのバラをつけたと言う話である。ここでは、バラなどの自然のものを大切にするなどを示している。この単元中の挿絵から自然などを大切にすることや健康な高齢者というイメージを持つことができると考えられる。

図15は、拡大家族の健康を害した高齢者(小3年)である。「心の中で」物語の内容は、目が不自由なおばあちゃんが迷子になり、家族に謝ったときにおばあちゃんの目になると決めた孫が一人で親友のお見舞いに行くと言うおばあちゃんに対して自分が連れて行くと家族の前で言い、連れて行くという話である。ここでは、身体が不自由なおばあさんを心配して、自分が出来ることをするというを示している。この単元中の挿絵から困っている人に対して自分の出来ることをすることや健康を害した高齢者というイメージ持つようになると考えられる。

図16は、一人暮らしの高齢者(小4年)である。「幸せはどこに」物語の内容は、一人で住んでいるおじいさんが忙しくなかなか会いにこない息子たちが会いにくるよう考え、金庫を作る。金庫を作ったとたんに息子たちが毎日のように会いにくるようになる。おじいさんが亡くなった後、金庫を開けてみると中にはがらくたしか入っておらず、息子たちは怒るが、自分たちと一緒にいるときのうれしそうな姿を思い出すという話である。ここでは、お金や財産のために何かをしてあげるのではなく、その人に幸せのために奉仕することの大切さや家族の大切さを示している。この単元中の挿絵から老後になれば一人で生活すること。そしてイメージを持つようになると考

えられる。

なぜ、高齢者は家族と離れて暮らすのであろうか、厚生労働省の調査²¹⁾によると65歳以上の高齢者の同居率は、三世帯世帯24.1%、親と未婚の子のみの世帯15.8%を合わせると39.9%であり、約4割の高齢者が息子や孫たちと一緒に住んでいる。先に述べたように内閣府が高齢者に対して実施したアンケート調査においても5割以上の高齢者が家族と生活している。このような実態があるにも関わらず否定的なエイジズム形成に教科書が加担しているのではないかと考えられる。

図17は、父母/父母と子の核家族(小5年)である。「ぼくのひと言」での挿絵で、家族の夕食の様子である。楽しい夕食の場に高齢者の姿はなかった。

6) 家庭科

(1) 高齢者像

表11に家庭科教科書(5、6年)の高齢者像の枚数を調べ、示した。

表11 小学校家庭科教科書(高齢者像)

小学校: 高齢者(写真・挿絵数)		家庭科 枚数(%)
高齢者*	健康な高齢者	33(77)
	健康を害した高齢者	10(23)
総計		43(100)

* 家族形態に関係なく高齢者の写真をカウント

小学校5、6年の高齢者の写真・挿絵の総計は43枚であり、国語(101枚)、生活(61枚)、道徳(55枚)、社会(45枚)の次に多かった。散歩や掃除をしている「健康な高齢者」は33枚(77%)であった。一方、松葉杖をついていたたり、車椅子を利用している「健康を害した高齢者」は10枚(23%)であった。

(2) 家族形態

家庭科教科書とはどのような家族を描いているのだろうか。「拡大家族(健康&健康を害した高齢者)」、「一人暮らし(高齢者)」、「核家族(祖父母のみ&父母/父母と子)」の家族形態に注目し、表12に示した。

表12 小学校家庭科教科書(家族形態)

小学校家庭科		枚数(%)	
		5・6年	総計
拡大家族	健康な高齢者	24	24(30)
	健康を害した高齢者	4	4(5)
ページ/枚数		4	28(35)
一人暮らしの高齢者		0	0(0)
核家族	祖父母のみ	0	0(0)
	父母/父母と子	53	53(65)
ページ/枚数(父母/父母と子)		2	53(65)
総計		81	81(100)

家族が描かれていた写真・挿絵の総計は81枚であった。「拡大家族」の総計は28枚(35%)であった。その内訳として「健康な高齢者のいる拡大家族」が24枚(30%) (=家族形態2位)であり、健康を害した高齢者が4枚(5%) (=家族形態4位)であった。「一人暮らしの高齢者」はなかった。「核家族」は53枚(65%)であり、その内訳は「核家族(祖父母のみ)」はなく、「核家族(父母/父母と子)」のみ (=家族形態1位)であった。

「拡大家族」&「核家族」(＝父母／父母と子)の写真・挿絵の出現率(1枚あたり何ページおきに出現する割合)を見ていく。高学年の「拡大家族」&「核家族」(＝父母／父母と子)のページ数割合はそれぞれ4&2ページ/枚であった。拡大家族、核家族の出現率が他教科に比較して最も高かった。しかし、「核家族」は「拡大家族」の2倍の出現率であった。超高齢社会を視野に入れるならば、後者の出現率を高める必要があるのではないだろうか。

(3) 写真・挿絵の具体例

ここでは教科書の写真・挿絵の具体的な解説をしていく。写真・挿絵を図18～20に示す。



図18 拡大家族の健康な高齢者
(小5・6年)²²⁾



図19 拡大家族の健康を害した高齢者
(小5・6年)²³⁾



図20 父母／父母と子の核家族(小5・6年)²⁴⁾

図18は、拡大家族の健康な高齢者(小5・6年)である。「つくろう!さわやかな生活」という単元での写真である。内容は、暑い夏の日をどのように工夫すればよいか示したものである。ここでは、様々な方法によって夏の暑さを和らげる方法が紹介されている。この単元中の写真から食事による身体の温度の調整、家族そろって食事をする楽しさや大切さや健康な高齢者というイメージを持つことができると考えられる。

図19は、拡大家族の健康を害した高齢者(小5・6年)である。「伝えよう!ありがとうの気持ち」という写真での挿絵である。内容は、家族や身近な人たちとどのように協力したらよいか考えてみようとしてある。ここでは、家庭や地域でどのような工夫をすれば、よりよい生活ができるか一人一人が考えることが必要であることが示されている。この単元中の写真から車椅子を利用者の普段の生活での大変さやその人にとって困難なことを自分なりに考え、協力することの大切さ、健康を害した高齢者というイメージ持つようになると考えられる。

図20は、父母／父母と子の核家族(小5・6年)である。「くふうしよう!季節に合うくらし」という単元の発展である“とびだせ!”での挿絵で家族の食事の様子でこのような高齢者の姿がない核家族の写真・挿絵が拡大家族の約2倍あった。

3. まとめ

小学校教科書における高齢者像は以下のようにまとめられる。

- (1) 高齢者の健康状態「健康な高齢者」/「健康を害した高齢者」の写真・挿絵枚数比は
国語 (95/6=16) > 道徳 (50/5=10) > 生活 (51/10=5) > 家庭 (33/10=3) > 社会 (31/14=2) >
保健 (7/5=1.4)
- (2) 家族形態（「拡大家族」/「核家族」（=父母/父母と子））の写真・挿絵枚数比は
低学年
国語 (13/14=0.9) > 生活 (21/53=0.4) > 道徳 (4/35=0.1)
中学年
保健 (2/3=0.7) > 道徳 (9/42=0.21) > 国語 (4/21=0.19) > 社会 (5/28=0.18)
高学年
保健 (4/4=1) > 国語 (10/14=0.7) > 家庭 (28/53=0.53) > 社会 (7/28=0.25) > 道徳
(2/20=0.1)
- (3) 学年別の「拡大家族」、「核家族」（=父母/父母と子）写真・挿絵の出現率 (page/枚)
は
 - i) 低学年 (page/枚)
 - a) 「拡大家族」 : 生活 (9) > 道徳 (38) > 国語 (34)
 - b) 「核家族」 (= 父母 / 父母と子) : 生活 (4) = 道徳 (4) > 国語 (32)
 - ii) 中学年 (page/枚)
 - a) 「拡大家族」 : 保健 (14) > 道徳 (21) > 社会 (49) > 国語 (129)
 - b) 「核家族」 (= 父母 / 父母と子) : 道徳 (5) > 保健 (9) = 社会 (9) > 国語 (25)
 - iii) 高学年 (page/枚)
 - a) 「拡大家族」 : 家庭 (4) > 保健 (43) > 社会 (51) > 国語 (57) >
道徳 (121)
 - b) 「核家族」 (= 父母 / 父母と子) : 家庭 (2) > 保健 (11) > 道徳 (12) > 社会 (13) >
国語 (37)

(1) の高齢者像で健康的な姿はそうでない高齢者の 1.4 ~ 16 倍であった。すなわち、教科書を開けば元気な高齢者がそこにいる。このことから、教科書が“高齢者は病人か障害者である”という偏見を子どもたちに与えているとは考えにくい。しかし、数は少ないが、車椅子や松葉杖を利用している姿や病院のベッドで高齢者が寝ている姿は、衝撃的で印象に残ることも確かなことであり、少なからず影響があるのかもしれない。

(2) で家族形態（「拡大家族」/「核家族」（=父母/父母と子））の写真・挿絵枚数比は全学年で 0.1 ~ 1.0 倍であり、圧倒的に「父母/父母と子」の姿が多く、高齢者が家族と一緒に暮らしている姿は少ない。このような家族形態を教科書は子どもたちに印象づけている。

(3) で「拡大家族」の出現率は高学年で家庭科が 4 ページに 1 枚の割合で最も高いが、高齢者のいない「核家族」の出現率は家庭科で 2 ページに 1 枚の割合となっている。“高齢者は養護老人ホームなどに入所している”“すなわち、家族の中に高齢者がいない”という偏見は教科書による刷り込みが考えられる。

日本は超高齢社会に向かっており、今後高齢者と一緒に生活する世帯が増える。それはまた、介護問題も同時に増加することを意味している。最近、介護する子どもが親を殺してしまう事件が多発している。このような悲惨な家族をつくらせてはいけない。それには小学校段階から介護問題に対応できるように見通しをもって家族づくりをしなければならない。そのために高齢者が存在する拡大家族のイメージは必要であり、現状の教科書の見直しが重要であると考えられる。

参考文献

- 1) 内閣府：「平成 17 年度版 高齢社会白書」
- 2) アードマン・B・パルモア：「エイジズム」法政大学出版局（1995）
- 3) 内閣府：「平成 14 年度 高齢者の健康に関する意識調査結果」
- 4) 角野栄子他「新編 あたらしい こくご 一年上」p76-77 東京書籍（平成 17 年）
- 5) 角野栄子他「新編 新しい 国語 五年上」p12 東京書籍（平成 17 年）
- 6) 角野栄子他「新編 新しい 国語 三年上」p55 東京書籍（平成 17 年）
- 7) 角野栄子他「新編 あたらしい こくご 一年下」p105 東京書籍（平成 17 年）
- 8) 佐々木毅他「新編 新しい社会 3・4 上」p81 東京書籍（平成 17 年）
- 9) 佐々木毅他「新編 新しい社会 6 下」p7 東京書籍（平成 17 年）
- 10) 佐々木毅「新編 新しい社会 3・4 上」p29 東京書籍（平成 17 年）
- 11) 齊藤歎能他「新編 新しいほけん 3・4」p2 東京書籍（平成 17 年）
- 12) 齊藤歎能他「新編 新しい保健 5・6」p2 東京書籍（平成 17 年）
- 13) 齊藤歎能他「新編 新しい保健 5・6」p16 東京書籍（平成 17 年）
- 14) 中野重人他「新編 あたらしい せいかつ 1・2 上」p64-65 東京書籍（平成 17 年）
- 15) 中野重人他「新編 あたらしい せいかつ 1・2 上」p71 東京書籍（平成 17 年）
- 16) 中野重人他「新編 あたらしい せいかつ 1・2 上」p40 東京書籍（平成 17 年）
- 17) 村井実「新版 こころ つないで 2」p78-79 教育出版
- 18) 村井実「新版 心つないで 3」p47 教育出版
- 19) 村井実「新版 心つないで 4」p46 教育出版
- 20) 村井実「新版 心つないで 5」p99 教育出版
- 21) 厚生労働省：「平成 15 年 国民生活基礎調査の概況」
- 22) 渋川祥子他「新編 新しい家庭 5・6」p64 東京書籍（平成 17 年）
- 23) 渋川祥子他「新編 新しい家庭 5・6」p96 東京書籍（平成 17 年）
- 24) 渋川祥子他「新編 新しい家庭 5・6」p93 東京書籍（平成 17 年）